

第3学年道徳学習指導案



平成28年10月28日(金)5校時
武蔵村山市立第三小学校
第3学年3組35名
教諭 野中 哲平

研究主題

「人との関わりを大切にし、豊かに表現できる児童の育成」
～グローバル人材育成に向けたオリンピック・パラリンピック教育の充実～

1 主題名

友達の大切さ 2-(3) 友情・信頼

2 資料名

「たまちゃん、大好き」(文溪堂)

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

2 主として他の人とのかかわりに関すること

(3) 友達と互いに理解し、信頼し、助け合う。

指導内容中学年2-(3)は、「友達と互いに理解し、信頼し、助け合う。」と示されている。これは、健康的な学級集団を積極的に育成するためにも、友達と互いに理解し、信頼し、助け合えるような子供を育てようという内容項目である。友達は、互いに分かり合うことで、心が通じ合ったり確かな友情が生まれたりする。相手を信頼し、友情を育てていくことは、豊かな人生を送る基本となることに気付かせ、常に実践する態度を養うことが必要である。

この時期の子供は、学校生活にも慣れ、行動範囲も広がり、いたづらをすることも多くなっている。ギャングエイジと呼ばれ、快活さと興味の広がりから周りの友達のことを考えずに自己中心的な行動をしてしまう傾向がある。そこで、周りの友達存在に気付かせ、友達同士互いに理解し、信頼し助け合おうとする実践的な態度を身に付けさせたい。

(2) 児童について

全体的に明るく素直で、何事にも一生懸命取り組もうとする児童が多い。学習においては、音声的な資料提示だけではお話を把握できず、授業に参加することが難しい児童がいる。また、自分なりの意見はあるものの、全体の前では、発表することに抵抗がある児童もいる。学級の人間関係も概ね良好で、互いに助け合おうとする姿も数多く見られる。例えば、給食をこぼしてしまった児童がいればすぐに他の児童が片付けの手伝いに来てくれる。また、困っている友達がいれば、優しい声をかけてあげている場面も少なくない。しかし一方で、友達と遊んでいるときに思い通りにならないことがあると、乱暴な言葉を使ってしまうたり、いじけて一緒に遊べなくなってしまうりするなどのトラブルも見られる。この1年を通して、よりよい友人関係について考えさせ、実際の人間関係に生かせるようにしていく。

(3) 資料について

本資料は、子供たちの好きなアニメの一つ「ちびまる子ちゃん」の一話である。たまちゃんとの約束をしっかりと守ったまる子は、約束を守らないたまちゃんのことが許せない。しかし、まる子も同じような立場になってみて、初めてたまちゃんの気持ちが理解できたという内容である。

互いの立場を理解し合い、以前より深い友達関係を築くことができたまる子の気持ちを考えることで、本当の友達について理解し、信頼し合うことの大切さに気付くことのできる資料であると考えられる。

4 研究主題に迫る手だて

(1) 研究仮説

〔仮説1〕オリンピック・パラリンピック教育の視点から授業の充実を図ることが、児童の視野を広げ、グローバルな社会を生きる人材となる素地を養うことに繋がるであろう。

〔仮説2〕児童一人一人が分かる授業を展開するために授業作りに授業のユニバーサルデザイン化の手法を取り入れ、ねらいの達成から逆算した授業作りを行えば、児童の学習意欲や主体的に学ぶ態度、豊かな表現力を養うことができるであろう。

(2) 目指す児童像

高学年	自他のよさを認め、主体的に相手と関わり合いながら、表現活動を工夫したり、自己の最善を尽くしたりすることができる児童。
中学年	自他のよさを感じ、相手との関わり合いを通して、目標に向かって、主体的に表現できる児童。
低学年	自分のよさを感じ、相手との関わりを大切に、楽しく表現することができる児童。

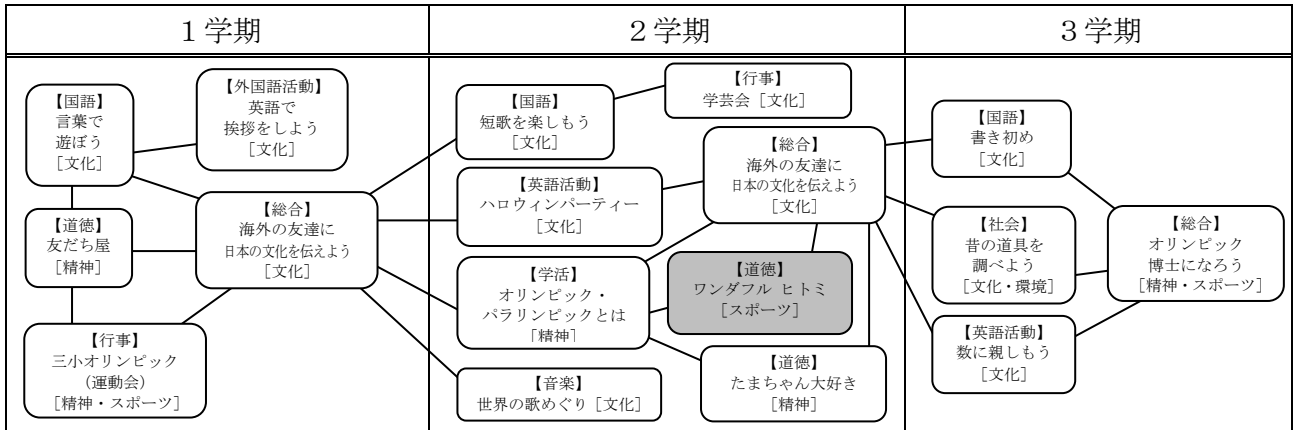
(3) 本単元におけるオリンピック・パラリンピック教育理念との関連

重点的に育成する五つの資質		4つのテーマ×4つのアクション（本時）
ボランティア マインド	社会貢献への意欲 他者を思いやる心 自尊心を高める	オリンピック・パラリンピックの精神×学ぶ

※その他には、バヌアツ共和国との交流、暑中見舞いや年賀状の書き方を学ぶなどの伝統文化についての学習やパブリカなどの栽培活動を行って環境に関する学習も行う。年間を通して、オリンピック・パラリンピック教育実施方針に沿った活動を意識して設定する。

(4) 他単元及び他教科の関連（他教科・他領域や日常的な指導等との関連）

中学年の目指す児童像「自他のよさを感じ、相手との関わり合いを通して、目標に向かって、主体的に活動できる児童」の実現ため、この資料の学習は、下表のような教科横断的な取組の一つとする。



目指す児童像に迫るためには、道徳の時間を要として、各教科、総合の時間や特別活動などの教育活動と関連させ、日頃から自らの目標をもち、粘り強く取り組んでいくことの大切さに気付かせていきたい。そのために、日頃の授業や生活の中で、児童に成功体験を積みませ、粘り強さや継続的に努力していくことが成長する喜びにつながることを体験させていきたい。各教科や総合の時間、特別活動と道徳教育との関連を意識して、道徳の時間で補充、深化、統合を図っていきたい。

(5) 本時の指導におけるユニバーサルデザインの視点について

本時の授業計画の組み立て（ねらいの達成から逆算）

授業展開	活動の様子	授業のユニバーサルデザイン視点
ねらいの達成 展開後段 ↓	友達とのかかわりについて、自分自身を振り返る。	○ ワークシートを活用し、児童が自分の意見を考えたり、まとめたりすることができるようにする。【焦点化】
展開前段 ↓	資料「たまちゃん大好き」を視聴し、主人公の気持ちを話し合う。	① 電子黒板を利用した電子紙芝居で資料提示を行う。【視覚化】 ② 発問や主発問に対応する場面絵を掲示し、場面をイメージさせることで自分の考えをもたせやすくさせる。【視覚化】 ③ 主発問で、ねらいとする価値に迫り、児童の考えを深めさせるために少人数での話し合い活動を行う。【焦点化】
授業の導入	友達とけんかしたときのことを考える。	① 友達とけんかしたときのことを考えさせることで、ねらいとする価値への方向付けをする。【焦点化】 ② 短冊カードやまる子のお話の場面絵を掲示し、まる子の気持ちを考えさせる。【視覚化・焦点化】
個別支援	・文章が書けない。 ・「友達っていいな」と思ったことを思い出せない。	① 個別に言葉掛けを行い、具体的な場面を想起させる。 ② 休み時間や、放課後などの各個人に合わせた具体的な場面を伝え、友達と遊んだことを思い出させる。

5 本時の学習

(1) 本時の目標

資料の登場人物の気持ちを考えることを通して、友達同士互いに理解し、信頼し合おうとする心情を養う。

(2) 展開

過程	学習活動と予想される反応 ・予想される反応	●指導上の留意点 ◆個別の配慮 ◎評価【観点】(方法)	☆ユニバーサル デザインの視点
導入 5分	1 友達とけんかをしたときのことを発表し合う。 ・けんかはいやだ。 ・早く仲直りしたい。	●ねらいとする価値への方向付けを図るために、けんかをしたときの経験を発表させ、嫌な気持ちを確認する。	【焦点化】
展開 37分	2 資料「たまちゃん大好き」を視聴し、主人公の気持ちを話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">たまちゃんが謝っても許せないでいるまる子はどんな気持ちでいたのでしょうか。</div> ・約束を破るなんてひどい。 ・寒い中待っていたのに。 ・たまちゃんのうそつき。	●電子黒板を利用した電子紙芝居で資料提示を行う。	【視覚化】
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">おなべの火を見ていて、はっとしたとき、まる子はどんなことを考えたのでしょうか。</div> ・たまちゃんも頼まれて留守番していたんだ。 ・たまちゃんの気持ちを考えていなかった。	●まる子の心の変化をとらえさせるために、まる子の表情の変化に注目させる。	【焦点化】
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">土手でタイムカプセルを探し続けたまる子は、どんな気持ちだったのでしょうか。</div> ・たまちゃんの気持ちを考えていなかった。 ・たまちゃんと作ったタイムカプセルを見つけない。	●まる子の気持ちに共感させるために、場面絵のまる子の表情に着目させる。	【共有化】
	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px;">◎お互いに「ごめんね。」と言い合いながら、涙が止まらないまる子はどんな気持ちだったのでしょうか。</div> ・ごめんねと謝ったらたまちゃんは許してくれたから、もっと好きになった。 ・たまちゃんはこんなに優しいのに、自分のことしか考えずにいてごめんね。 ・たまちゃんにもいやな思いをさせてしまった。 ・こんなに優しい友達なのにごめんね。	●個人でじっくり考えさせるための時間をとるとともに、少人数で話し合い、考えを交流させる。 ◎主人公が友達を理解し、信頼しようとしている気持ちを考えている。(発言) ●全体での意見交流を行い、様々な考えに気付かせる。	【共有化】

	<p>3 友達とのかかわりについて、自分を振り返る。</p> <p>友達っていいなと感じたことはありますか。それはどんな時ですか。その時の気持ちもあわせて書きましょう。</p>	<p>●じっくりと考えることができるように、ワークシートを活用する。</p> <p>◎友達の大切さについて考えることができる。(ワークシート)</p>	
終末3分	<p>4 先日行われたリレー大会で、学級の全員でバトンをつないだ経験を振り返る。</p>	<p>●身近な経験を振り返ることによって、ねらいとする道徳的価値について、心情を深められるようにする。</p>	

6 板書計画

	場面絵	場面絵	場面絵	場面絵	
<p>友達っていいなと思ったことはありますか。それはどんなときですか。</p> <p style="text-align: center;">友情</p>	<p>おたがいに「ごめんね。」と言い合いながらなみだがとまらないまる子は、どんな気持ちだったでしょう。</p> <p>・ごめんねと謝ったらたまちゃんは許してくれたから、もっと好きになった。</p>	<p>土手でタイムカプセルを探し続けた時</p> <p>・たまちゃんの気持ちを 考えていなかった。</p> <p>・たまちゃんと作ったタイムカプセルを見つけた。</p>	<p>おなべの火を見ていて、はっとした時</p> <p>・たまちゃんも頼まれて 留守番していたんだ。</p> <p>・たまちゃんの気持ちを 考えていなかった。</p>	<p>たまちゃんがあやまってゆるせない時</p> <p>・約束を破るなんてひどい。 ・寒中待っていたのに。 ・たまちゃんのうそつき。</p>	<p style="text-align: center;">たまちゃん大すき</p> <p style="text-align: center;">まる子 まる子の気持ち</p> <p style="text-align: center;">たまちゃん</p>

7 ワークシート

「心のアルバム」

「たまちゃん、大すき」

友達っていいなと感じたことはありますか。それはどんなときですか。その時の気持ちもあわせて書きましょう。

名前 ()